



清陵だより

第2号 令和8年5月1日

大田区立大森第四中学校

〒146-0082 大田区池上一丁目15番1号

電話 03(3753)7500

<https://www.ota-school.ed.jp/oomoridai4-js/>

気持ちのよい「あいさつ」のある学校

校長 小松 香織

新緑がまぶしい季節となりました。新年度が始まって一か月が過ぎ、各学級や学年での取組をとおして、生徒たちも少しずつ新しい環境に慣れてきたように感じます。

この一か月の中で、私が大変うれしく感じたことがあります。来校された方や4月22日（水）に実施された「小中一貫教育の日」で来校された小学校の先生方から、「生徒さんたちが元気にあいさつをしてくれて、とても気持ちがよいですね」と伝えてくださったことです。校長として、大変うれしく、あたたかい気持ちになりました。

このような姿は、学校生活だけで身につくものではなく、ご家庭や地域での日々の関わりの中で育まれてきたものだと感じております。保護者の皆様、地域の皆様の温かいご支援に、心より感謝申し上げます。

「あいさつ」は何気ないことのようにですが、大切な意味をもっていると考えます。

一つ目は、「相手を大切に思う気持ちが伝わる」ということです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」の一言には、「あなたのことをしっかり見ていますよ」という思いが込められています。二つ目は、「人との距離を近づけるきっかけになる」ということです。自分からあいさつをすることで、自然と会話が生まれ、関係が広がっていきます。三つ目は、「場の雰囲気をも明るくする力がある」ということです。元気なあいさつが広がることで、学校全体が安心できる、あたたかい場所になります。

これから様々な活動や学校行事が増えていく時期となります。生徒たちのよさの一つである「あいさつ」を大切にしながら、学校・家庭・地域が一体となって、よりよい学校づくりを進めてまいります。

～ 地域の中で育つ笑顔 ～

4月26日（日）に「大田区子どもガーデンパーティー（池上会場）」を訪れました。会場に本校生徒が参加している姿を見かけ、思いがけない喜びを感じました。

吹奏楽部とアコースティックギター部によるアトラクションでは、大勢の方々が盛大に拍手をして盛り上げてくださいました。生徒たちは真剣な表情をしながらも、その雰囲気を楽しんでいました。生徒会主催の催し物では、園児や小学生に向き合う生徒たちは、自然に視線を合わせ、やさしく声をかけていました。その場に広がっていたのは、子どもたちも生徒たちも、思わずこちらまで笑顔になるようなあたたかな空気でした。

地域の中で見える姿、育まれる力があるのだと感じました。こうした経験の一つ一つが生徒の成長につながっていくことと思います。

これからも、地域の活動に一步踏み出す生徒が増えることを願っています。